

第69回 日本生態学会大会（福岡大会）の案内

第69回日本生態学会大会（ESJ69）を「ハイブリッド形式（オンライン開催＋現地開催）」で以下の通り開催します。今大会では、一般口頭発表・ポスター発表（高校生ポスター含む）、英語口頭発表を「完全オンライン」で行ない、シンポジウムや自由集会を「現地開催（リモートで参加も可能）」を基本として行なう予定です。詳細は本案内、あるいは次号のニュースレターや大会ウェブページをご確認ください。オンラインでの交流やポスター発表の議論を活性化する工夫や、参加者と講演者のダイバーシティに配慮したバリアフリー化の推進（講演のライブ配信やオンデマンド配信などを含む）を計画しています。

※現在のところ、ハイブリッド形式での開催を予定しておりますが、新型コロナウイルスの今後の感染拡大状況に応じて、日程や開催形態を変更する可能性があります。

大会概要

会期：2022年3月14日[月]～19日[土]

会場：オンライン（3月14～16日）と福岡国際会議場（3月17～19日、ライブ配信あり）

講演・集会の申し込み締切：2021年11月1日（月）

大会ウェブページ：<https://esj-meeting.net>

本大会に関する問い合わせは、大会公式ウェブページの「問い合わせ」リンクからお願いします。

対面参加の人数制限と対面参加の権利の付与

新型コロナウイルスへの感染対策として、現地会場への来場者数に上限（1,000名程度を予定）を設ける予定です。

まず、対面形式（現地開催）のシンポジウムや自由集会の企画者や講演者は、対面参加の権利が優先して付与されます。次に、参加申込み時に現地会場への来場を希望した参加者の中から先着順（参加申込みの順序）で上限人数に達するまで、対面参加をする（現地会場に来場する）権利を付与する予定です。対面参加を希望する方は、できるだけ早く参加申込みをお願いいたします。新型コロナウイルスの感染拡大状況に応じて、対面参加者の制限員数が変動する場合があります。また、無料で参加する学部学生や中高生は、対面での参加ができません。

会期中の主なスケジュール（計画）

	オンライン			現地開催（ライブ配信あり）		
	3月14日 （月）	3月15日 （火）	3月16日 （水・移動日）	3月17日 （木）	3月18日 （金）	3月19日 （土）
ポスター発表	○	○	※1	※1	※1	※1
口頭発表・英語口頭発表※2	○	○				
受賞講演・フォーラム	○	○				
懇親会		○				
シンポジウム・自由集会※3				○	○	○
総会			○			
高校生関連のイベント （オンライン）						○
オンライン交流会	○	○		○	○	○

※1 3月16日以降も、ポスターの掲示や、閲覧、ディスカッション（テキストチャット機能を使用）を行なうことができます。大会後も1週間程度は、ポスターを閲覧できる状態が続く予定です。

※2 オンデマンド視聴にも対応する予定です。大会後1週間程度までは、発表の動画を視聴できる予定です。

※3 シンポジウムと自由集会は、対面形式での開催を基本としますが、オンライン形式での開催を選択することもできます。対面形式の場合でも、一部の講演者がリモートで講演することも可能です。すべてのシンポジウム・自由集会は開催形態に関わらずライブ配信されます。

集会の提案と講演の申込みの受付

【締切】

申込内容	締切日時
シンポジウム・自由集会の企画の提案	2021年11月1日（月）23:59
口頭・ポスター発表、英語口頭発表、高校生ポスター発表の申込み	
フォーラムの申込み	2021年9月15日（水）23:59
講演要旨登録	2022年2月21日（月）23:59

※スケジュールに変更の可能性がありますので、適宜、大会公式ウェブページで確認ください。

※講演申込みや企画の提案のための生態学会への新規入会・再入会の申込みも11月1日（月）23:59までに行なってください。ただし、スムーズに講演申込み等の手続きをしていただくため、入会・再入会の申込みはなるべく講演申込みの締切日前日までに行ってください。

※各締切日の17:00～翌日10:00は、お問い合わせに対応できません。各種手順の確認はお早めをお願いします。

※すべての締切に関して、締切後の追加や修正等の依頼には対応できません。

【受付開始時期】

内容	開始日
新規入会・再入会申込み	随時
一般講演の申込みや集会の提案	各締切の1ヶ月程度前

大会参加資格一覧

会員種別ごとの参加資格は、以下の表の通りです。企画・講演の重複制限については、各集会および一般講演の詳細をご覧ください。

講演種別	会員種別	
	会員 ^{※1}	非会員
聴講者としての大会参加	○	○
一般講演（口頭発表・ポスター発表） ^{※2}	○	
シンポジウム・自由集会の企画 ^{※3}	○	
シンポジウムでの講演 ^{※2}	○	○ ^{※5}
自由集会での講演 ^{※2}	○	
シンポジウム・自由集会のコメンテータ・意見表明 ^{※4}	○	○

※1 日本生態学会の正会員（一般・学生）および名誉会員を指します。賛助会員は含まれません。

※2 講演の主たる発表者（説明者）を意味します。共同発表者は会員である必要はありません。

※3 共同企画者も会員に限ります。

※4 要旨を登録しないコメンテータや意見表明を指します。要旨登録を行なう場合は「講演」となります。

※5 企画者に招待された方に限ります。下記「シンポジウムの募集」の「企画内容について」の第2項および第3項をご参照ください。

【注意事項】

- 非会員が集会の企画や講演を希望する場合（シンポジウムでの招待講演を除く）は、企画・講演申込み前に学会への入会申込みを行なってください。スムーズな講演申込のため、（再）入会は講演申込の締切前日までに行なってください。また、講演要旨登録締切までに、学会費（年会費）を納入してください（会費滞納による退会者の再入会の場合も同様）。
- 高校生ポスター発表会に参加される高校生（中学生含む）については、学会への入会は不要です。詳しくは「高校生ポスター発表会」と「みんなのジュニア生態学」の案内をご覧ください。
- 非会員でも、大会参加費をお支払いいただければ、聴衆として全プログラムに参加できます。

大会参加費・懇親会費

- 大会参加費は、学会費（年会費）と別に納入していただきます。詳しくは、次号のニュースレターでお知らせします。
- 若手の方の参加を促進するために、大学学部生以下（小中高生を含む）の方を対象に大会参加費の無料化を予定しています。ただし、無料参加者は、対面での学会参加ができません。
- 懇親会はオンラインで行なわれます。懇親会費は無料です。
- 自由集会のみに聴衆として参加する場合には、会員・非会員問わず自由集会聴講券（1,000円の予定）を利用可能です。自由集会聴講券は、大会期間中複数日にわたって利用できます。ただし、自由集会聴講券では、対面での学会参加ができません。

シンポジウムの募集

ESJ69では、大会シンポジウムの企画案を会員から募集します。シンポジウムは、大会の中心となる集会です。下記の趣旨をご理解のうえ、奮ってお申込みください。シンポジウムの開催時間は3時間の予定です。なお、対面での開催（企画者と講演者が現地に集まり登壇すること）を基本としていますが、完全オンラインでの開催や一部の講演者のみがリモート（オンライン）で登壇することも可能です。多様な立場やジェンダー、国籍の研究者からの意欲的な提案を期待しています。なお、発表は録画され、会期中あるいは大会後1週間程度、オンデマンド配信される予定です。録画の可否については、企画の提案時に確認する予定です。

【企画内容について】

- 大会参加者は、毎年多様なテーマに関するシンポジウムが開催されるとともに、それまでにはなかった新鮮なテーマのシンポジウムが開催されることを期待しています。大会企画委員会は、シンポジウム企画経験の少ない方からの企画提案を歓迎します。
- 他分野との交流を深めるため、生態学会会員以外の非会員の方に招待講演をしていただくことも可能です。招待講演者の大会参加費は無料となります。なお、同一の非会員による2年連続の招待講演はできませんのでご注意ください。
- 新型コロナウイルスの感染状況を見通せないことから、例年採用していたEcological Research誌による招待講演者（ER招待講演者）の募集を本大会では行ないません。しかしながら、シンポジウムでの国際的な情報発信や議論の活発化のため、海外研究者のオンライン参加や非会員の方の招待講演者制度を利用した積極的な参加を歓迎します。

【英語使用について】

- 日本生態学会では、留学生や海外からの大会参加が増えています。今後もさらに参加者同士の研究交流が進むことを目指して、シンポジウムにおける英語の使用（日本語との併用を含む）を奨励します。
- 日本語で開催されるシンポジウムでは、可能な範囲で、スライドでの英語の併記や簡単な英語版ハンドアウトの用意などの工夫をお願いします（ハンドアウトや二か国語スライド等は、英語開催のシンポジウムにおいて非英語話者の参加を促すのにも有効です）。

【応募要領】

- シンポジウムの応募締切は、2021年11月1日（月）23:59です。具体的な申込み方法は次号のニュースレター、および9月下旬頃に大会ウェブページでお知らせします。
- 企画者は、ダイバーシティの尊重の観点から、企画者や講演者の立場やジェンダーなどのバランスに配慮して集会を構成してください。
- 大会企画委員会は集会の内容に関与しませんが、個人および団体を誹謗中傷する内容などを含むと判断されるシンポジウム企画は採択されないことがあります。
- 対面での開催を希望するシンポジウムの提案数が会場の収容可能数を上回る場合、オンラインのみでの開催に切り替えて頂く場合があります。同様に、オンラインでの開催の希望が多すぎる場合には、対面での現地開催に切り替えることができないか、検討をお願いする可能性もあります。開催形態や開催の可否については、締切の約3週間後にメールで連絡します。

【応募の制限について】

- 企画者（共同企画者も含む、以下同様）は会員（正会員および名誉会員、以下同様）に限ります。非会員は企画者になれません。
- 異なるシンポジウム間で重複して企画者または講演者（講演の主たる説明者、以下同様）となることはできません。
- シンポジウムの企画者・講演者は、自由集会の企画者・講演者、一般講演（口頭発表、ポスター発表とも）の講演者になることはできません。
- 要旨登録を伴わない趣旨説明やコメント、意見表明などは、講演には数えません。そのため、これらは講演の重複制限の対象とはなりません。
- シンポジウムとして申請する場合、講演者は2名以上で構成してください。講演者が1名だけの場合は自由集会として申請してください。

自由集会の募集

ESJ69では自由集会を募集します。自由集会は、新しい分野の立ち上げを助け、生態学の枠組みからはみ出す話題についても自由に議論できる場として、生態学会が伝統的に重視してきた集会です。下記の趣旨をご理解のうえ、奮ってお申込みください。自由集会の開催時間は1.5時間の予定です。なお、対面で開催（企画者と講演者は現地に集まり登壇すること）を基本としていますが、完全オンラインでの開催や、一部の講演者のみがリモート（オンライン）で講演することも可能です。多様な立場やジェンダー、国籍の研究者からの意欲的な提案を期待しています。なお、発表は録画され、会期中あるいは大会後1週間程度、オンデマンド配信される予定です。録画の可否については、企画の提案時に確認する予定です。

【企画内容と応募の制限について】

- 全体の趣旨や概要のほか、個別の講演の要旨もプログラム（オンライン）に掲載されます。
- 企画者（共同企画者も含む、以下同様）は会員（正会員および名誉会員、以下同様）に限ります。非会員は企画者になれません。
- 講演者（講演の主たる説明者、以下同様）は、会員に限ります。非会員の方に招待講演をしていただくことはできません（要旨登録を伴わないコメントや意見表明は可能です）。
- 自由集会の企画者・講演者は、一般講演（口頭発表やポスター発表）と重複して講演することができますが、シンポジウムや他の自由集会の企画者・講演者となることはできません。
- 要旨登録を伴わない趣旨説明、コメント、意見表明などは、講演には数えません。そのため、これらは講演の重複制限の対象とはなりません。

【応募要領】

- 自由集会の応募締切は、2021年11月1日（月）23:59です。具体的な申込み方法は次号のニュースレター、および9月下旬頃に大会ウェブページでお知らせします。
- 大会企画委員会は集会の内容に関与しませんが、個人および団体を誹謗中傷する内容などを含むと判断される自由集会企画は採択されないことがあります。
- 企画者は、ダイバーシティの尊重の観点から、企画者や講演者の立場やジェンダーなどのバランスに配慮して集会を構成してください。

【自由集会の採否について】

- 十分な会場数およびZoomのアカウント数を確保する予定ですが、提案数が例年を大幅に上回る場合には、抽選で自由集会の採否を決定します。
- 対面開催を希望する自由集会の提案数が会場の収容可能数を上回る場合、オンラインでの開催に切り替えていただく可能性があります。同様に、オンラインでの開催の希望が多すぎる場合には、対面での開催に切り替えることができないか、検討をお願いすることがあります。
- 開催の可否については、締切の約3週間後にメールで連絡します。

【シンポジウムと自由集会の違い】

	シンポジウム	自由集会
位置づけ	大会の核となる集会	さまざまな話題を自由に議論できる場
開催時間	3時間	1.5時間
開催の優先度	最優先されます	最優先ではありません 会場が足りない場合は抽選を行いません
日程・時間	最優先されます 聴衆の集まりやすい日時に割り当てられます。対面での現地開催を優先して割り当てます。	最優先ではありません 夕刻を中心に割り当てられます。現地開催の集会数が会場の枠を超えた場合、優先的にオンラインへ切り替えます。
開催形態	対面での現地開催を基本とする 希望があれば、一部講演者がリモートで登壇すること、もしくは集会全体を完全オンラインでの開催することも可能です。	
企画委員会の関与	特定の個人や団体を誹謗中傷する内容がないかを審査します。	
企画者の資格	会員	
非会員による講演	奨励します 招待講演者として参加費を免除	認められません 要旨登録を伴わないコメント等は可能
企画者・講演者の一般講演	不可	可
企画者・講演者の他集会の企画や講演	不可	
集会の提案の締切日	2021年11月1日（月）23:59	
オンデマンド対応	発表は録画され、会期中あるいは大会後1週間程度、オンデマンド配信される予定です。録画の可否を企画の提案時に確認する予定です。	
大会プログラムへの掲載内容	プログラム（オンライン）には、集会の概要と各講演の要旨が掲載されます。	

フォーラム

学会内の各種委員会等によって企画されるフォーラムを数件開催する予定です。フォーラムとは、各種委員会および理事から提案され、生態学会が取り組んでいる生態学に関連する課題について広く会員の意見を募り、会員相互の情報共有を促すことや、広範な議論により学会内の合意を形成することを目指すものです。なお、フォーラムの企画やフォーラムでの話題提供は、講演の重複制限の対象となりません。申込みは各委員会代表者と理事が行ないます。8月のフォーラム開催希望調査の際に企画の提案をしてください（締切：2021年9月15日（水））。企画案は、理事会で確認し、大会企画委員会および実行委員会との調整の上で、採択の可否が決定されます。これらの協議の過程で、内容の修正や開催形態の調整を求められることがあります。フォーラムの開催時間は1.5時間の予定です。フォーラムは、オンラインで開催され、オンデマンド配信にも対応予定です。

一般講演

一般講演には口頭発表とポスター発表があります。申込み時に希望をお聞きますが、会場の都合でご希望に沿えない場合もあります。口頭発表はZoomにて行なわれます。ポスター発表は、オンラインのプラットフォーム内にポスターファイル（PDF）をアップロードして行なわれます。各ポスター発表のページには、閲覧性を高めたり、交流や議論を促進させたりするための諸機能（テキストチャットや動画ファイルの利用、ビデオ会議、コメント通知機能など）が備わる予定です。そのため、ESJ68とは異なるプラットフォーム（Online Conf）が使用されます。なお、発表は録画され、会期中あるいは大会後1週間程度、オンデマンド配信される予定です。録画の可否については、講演申込み時に確認する予定です。詳細は次号のニューズレターでお知らせします。

口頭発表では、英語での発表・討論を経験する機会を提供し、日本語を解さない参加者との交流を図るために、英語での発表を歓迎します。また、英語による発表を集めた「英語口頭発表枠」を選ぶこともできます（発表内容に応じて分野を分けます）。この場合は、下記の「英語口頭発表聴衆特別賞」にエントリーした発表と共にセッションを構成します。また、賞への応募の有無に関わらず、すべての方に英語口頭発表枠での一般講演を推奨します。英語での発表の実践の場としてもどうぞご活用ください。

※一般講演の講演者（主たる説明者、以下同様）は、会員（正会員および名誉会員、以下同様）に限ります（共同発表者は会員である必要はありません）。

※1人で2つ以上の講演の主たる説明者になることはできません（共同発表者になることは可能です）。

※シンポジウムの企画者・講演者は一般講演（口頭・ポスターとも）を行なうことはできません。これらの制限は、いづれも限られた場所と時間を分け合って使うための措置ですので、ご了承ください。

【英語口頭発表聴衆特別賞】

ESJ69では、英語口頭発表枠で英語口頭発表聴衆特別賞を実施します。賞の目的は、大会における英語による研究発表を振興し、留学生や国外からの参加者との議論の場をより多く作ることです。特に若手研究者のコミュニケーション能力と国際的情報発信力を高める機会を増やすことを重視しています。本賞に応募される方は、講演申込みの際に、一般講演

(口頭発表)に応募した上で、「英語セッション」と「EPAAに申し込む」のオプションを選択してください。2022年3月時点で博士取得後5年以内の方に応募資格があります。なお、この応募資格は固定されたものではなく、今後変更になる可能性があります。

【ポスター賞】

ESJ69では、若手の研究を奨励するために、優秀なポスター発表に賞を贈ります。ポスター発表では、英語での説明を併記するなど、日本語を理解しない参加者への配慮を推奨します。本大会では審査員確保の観点から、ポスター賞の申込数について、前回岡山大会と同様に、500件という上限を設定することを予定しています（一般ポスターの申込数については、上限設定はありません）。ポスター賞の運営や応募資格、審査方法などについては、次号のニュースレターに掲載します。

高校生ポスター発表会

日本生態学会は、生態学の社会への普及のため、高校生ポスター発表会・「みんなのジュニア生態学講座」を実施しています。高校生（中学生も歓迎です）にポスター発表をしていただき、生態学諸分野の専門家や学生、他の参加校との交流を通して、生態学全般への関心をさらに高めていただくのが本企画のねらいです。生き物の生態や環境に関わる生物学の内容であれば、どのような分野や題材の発表でも大歓迎です。既に他の学会等で発表された研究の場合、そこからどのように発展したのかを含め、研究の集大成・経過報告としてご発表ください。参加費は無料です。今年度は3月19日（土）にオンラインで開催される予定です。本大会ではポスター発表の申込数について、50件程度の上限が設定される可能性があります。前述の通り、高校生ポスター発表会に参加される高校生（中学生含む）については、学会への入会は不要です。詳細は次号のニュースレターでお知らせします。

「みんなのジュニア生態学講座」

ESJ69においても、高校生ポスター発表会に参加した高校生と研究者との交流会「みんなのジュニア生態学講座」を企画します。3名程度の研究者に話題提供をお願いし、どのような中学・高校時代だったか、研究者を目指したきっかけは？などのエピソードも含めて、ご自身の研究を語ってもらいます。質問時間を十分に設けますので、ご期待ください。開催日時や参加申込み、要旨登録、授与される賞等の詳細については、次号のニュースレターや日本生態学会の大会ウェブページ、全国規模のML等で配信しますので、ぜひお知合いの高校教員や高校生に周知していただきますよう、よろしくお願いします。

日本生態学会第25回公開講演会

「ここまでわかった! どんぐりの謎」 日時：2022年3月19日（土）

会期内に上記のとおり公開講演会を開催いたします。内容の詳細については、次号のニュースレターでお知らせします。

大会企画委員会

企画委員長	高橋佑磨（千葉大）
企画副委員長	細 将貴（早稲田大）
運営部会	潮 雅之、才木真太郎、堤田成政、高野宏平、京極大助、橋本洸哉、立木佑弥、野下浩司、田邊晶史、酒井陽一郎
シンポジウム部会	小山明日香、吉村真由美、大舘智志、東 若菜、井坂友一、今井伸夫、児島庸介、小林知里、阿部真人、磯村尚子、門脇浩明
ポスター部会	吉竹晋平、服部 充、山尾 僚、江川知花、長谷川成明、清水加耶、比嘉基紀、土岐和多瑠、鍋嶋絵里、中西 希、細川貴弘、島田直明、松橋彩衣子、平山貴美子、山下 聡、平野尚浩
高校生ポスター発表部会	中濱直之、望月 昂、片山直樹、城野哲平、宮崎佑介、佐賀達矢、中原 亨、立木佑弥、高木 俊、中村圭司、酒井聡樹、勝原光希、鏡味麻衣子、坂田ゆず
発表編成部会	榎木 勉、富松 元、赤坂卓美、源 利文、森 英樹、兵藤不二夫
英語セッション部会	深澤 遊、辰巳晋一、杉浦大輔、照井 慧、青柳亮太、宇野裕美、森井悠太、入谷亮介、福森香代子、水元惟暁、上村真由子

大会実行委員会

大会会長	粕谷英一（九州大学）
大会実行委員長	佐竹暁子（九州大学）
大会副実行委員長	細川貴弘（九州大学）
実行委員会メンバー	津田みどり、榎木 勉、立田晴記、細川貴弘、中原 亨、菱 拓雄、小川浩太、佐々木江理子、佐竹暁子、久米 篤、片山歩美、平舘俊太郎、松林 圭